

2年 (家庭科) 衣服の表示学習解説

皆さんは毎日衣服を着ています。服を着ない日はないでしょう。
衣服には**表示をつけることが義務づけられています**。
表示からいろいろな情報を得ることで、衣生活を快適におくることが出来るのです。

①表示がどこにつけられているか調べましょう。

教科書 P.175 の表示例 (写真) のように、タグの形で衣服の脇の縫い目や首の後ろについていることが多いですが、最近では、布に直接印刷されていることもあります。

②表示の種類は5つ、それぞれが何を示しているのかを覚えましょう。

サイズ表示

(衣服のサイズを示す。)

…自分の体の大きさや体形に合った服を選ぶ時に必要です。
体のどの寸法が示されているか確認しましょう。

組成表示

(衣服の布地に用いられている繊維の種類と混用率を示す。)

…衣服は布からできています。布は糸から作られ、糸は繊維から作られます。
一つ一つの繊維には特徴があり、衣服の活用に合わせて繊維の種類も変わってきます。

取り扱い(絵)表示

(手入れの方法を示す。)

…衣服は着た後に手入れが必要です。
記号を使って分かりやすく工夫されています。
2016年12月に取り扱い(絵)表示の改正が行われ、現在の表示に変わりました。
家にある衣服を調べていくと、旧JIS記号と新JIS記号の2種類が見られます。
記号の違いを確認しましょう。

表示者名の表示

(製品について責任を負う業者の名前と連絡先を示す。)

…衣服について問い合わせられるように、住所や電話番号などが書かれています。

原産国表示

(商品が製造された国を示す。)

…どんな国で製造されているか、どの国が多いか調べてみましょう。

☆プリントの説明をよく読んで、いろいろな衣服の表示を見て調べましょう。